

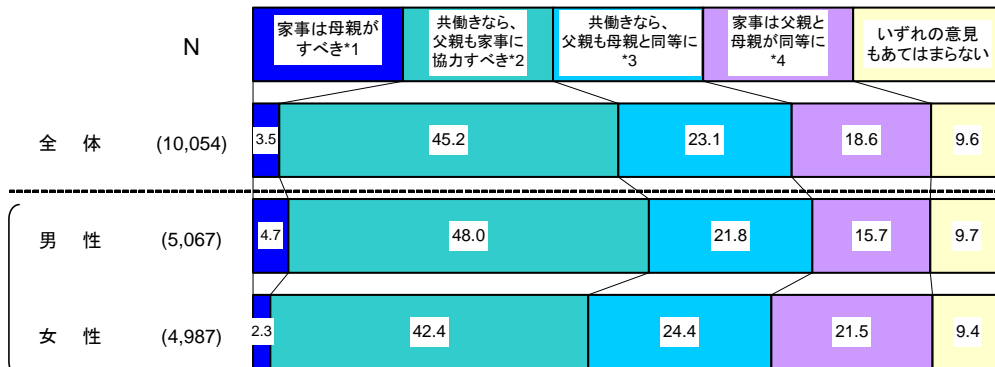
(6) 父親と母親の家事・育児への関わり方

Q29 父親と母親の、家事・育児への関わり方について、次のような意見があります。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

(ひとつだけ)

【男女別】

(%)



*1 母親が仕事を持っても持たなくても、家事・育児は母親がすべきである

*2 共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである

*3 共働きであれば、父親も家事・育児を母親と同等にすべきである

*4 母親が仕事を持っても持たなくても、家事・育児は、父親と母親が同等にすべきである

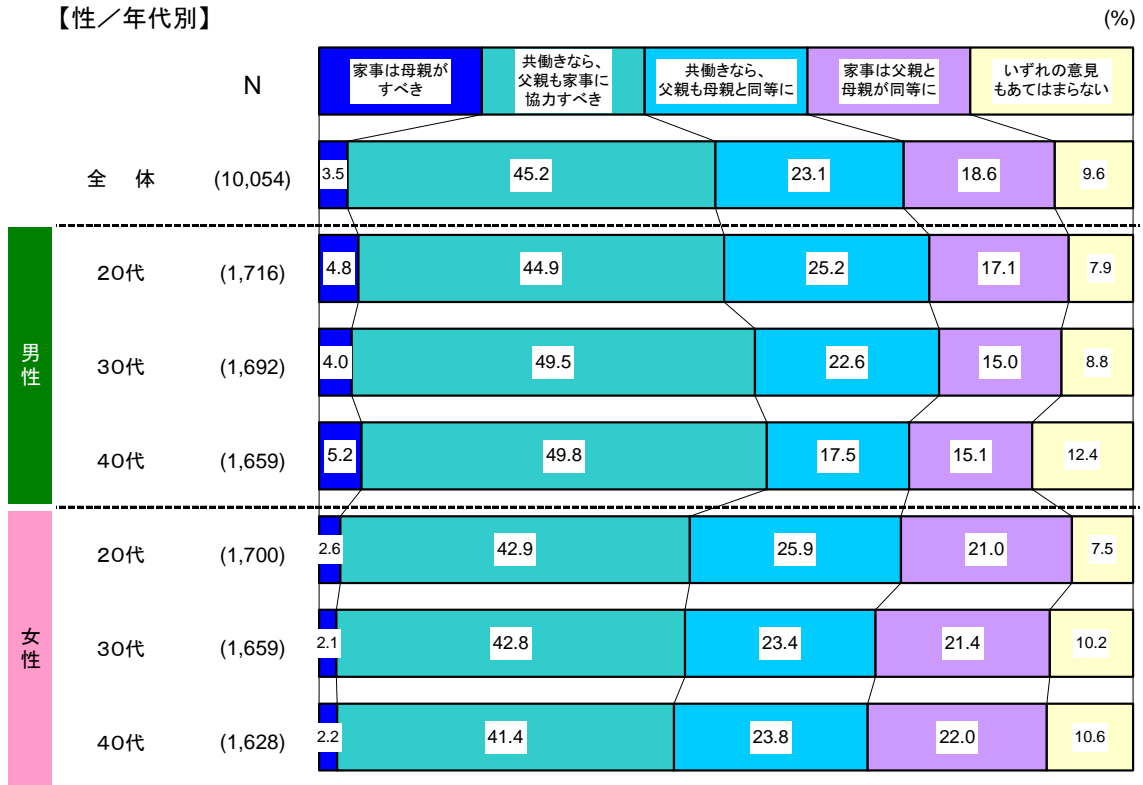
回答者全員に、父親と母親の家事・育児への関わり方について聞いたところ、「共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである」という回答者が 45.2%で最も多く、次いで 2 割強が「共働きであれば、父親も家事・育児を母親と同等にすべきである」(23.1%) と回答している。

「母親が仕事を持っても持たなくても、家事・育児は、父親と母親が同等にすべきである」(18.6%) と回答した者は 2 割弱で、「母親が仕事を持っても持たなくても、家事・育児は母親がすべきである」という者を 15 ポイント上回っている。

男女別にみると、「共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである」(男性 48.0%、女性 42.4%) という回答者は、男性の方が女性より多くなっている。

性・年代別にみると「共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである」という回答者は、男性の30代（49.5%）と40代（49.8%）で5割近い（図表4-6-1）。

図表 4-6-1 父親と母親の家事・育児への関わり方（性・年代別）

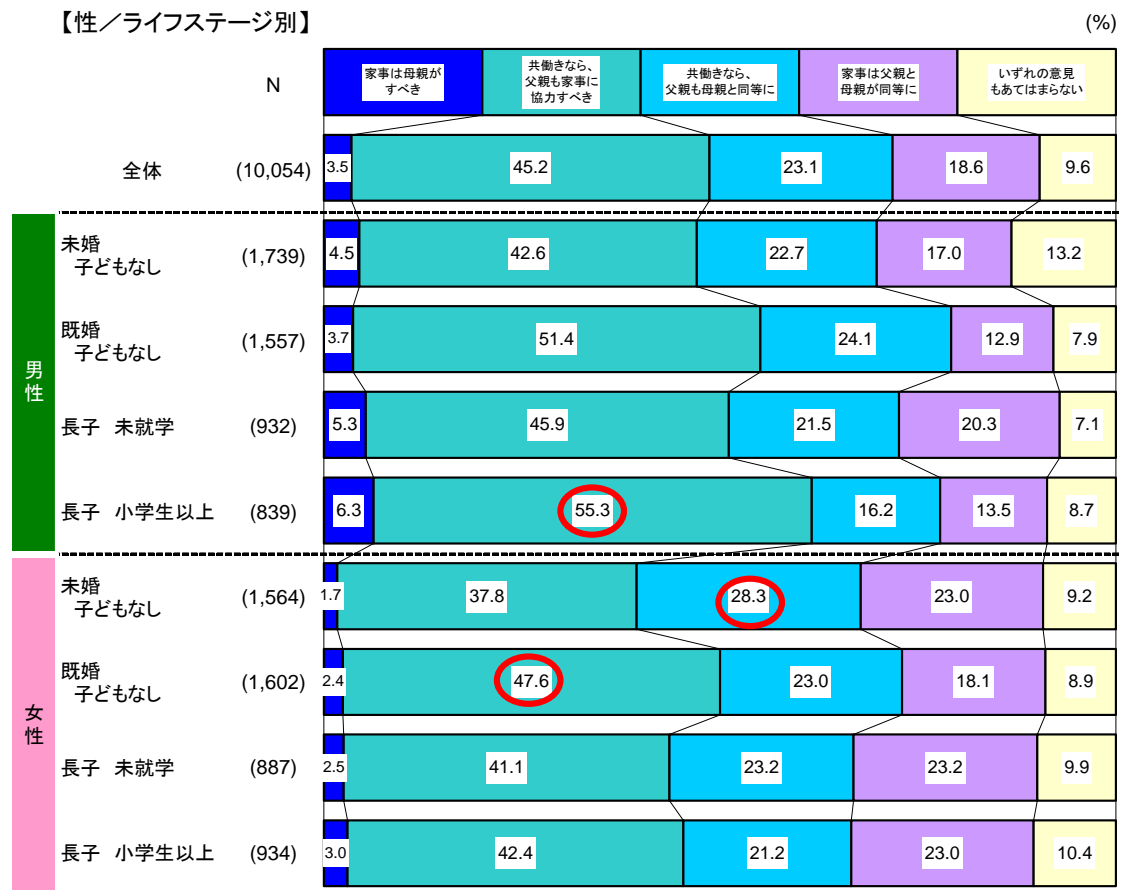


性・ライフステージ別にみると、長子が小学生以上の男性で、「共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである」(55.3%)という回答が、他の属性の男性よりもやや多くなっている(図表 4-6-2)。「共働きであれば、父親も家事・育児を母親と同等にすべきである」(16.2%)という回答者は1割台と、他の属性の男性よりもやや少ない。

一方、女性では、未婚で子どもいない層で「共働きであれば、父親も家事・育児を母親と同等にすべきである」が28.3%と他の属性の女性に比べてやや多い。一方、既婚で子どもいない女性では、「共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである」が47.6%とやや多くなっている。

長子が小学生以上の層では、父親と母親の家事・育児への関わり方の意識に男女差が大きくなっている。

図表 4-6-2 父親と母親の家事・育児への関わり方(性・ライフステージ別)

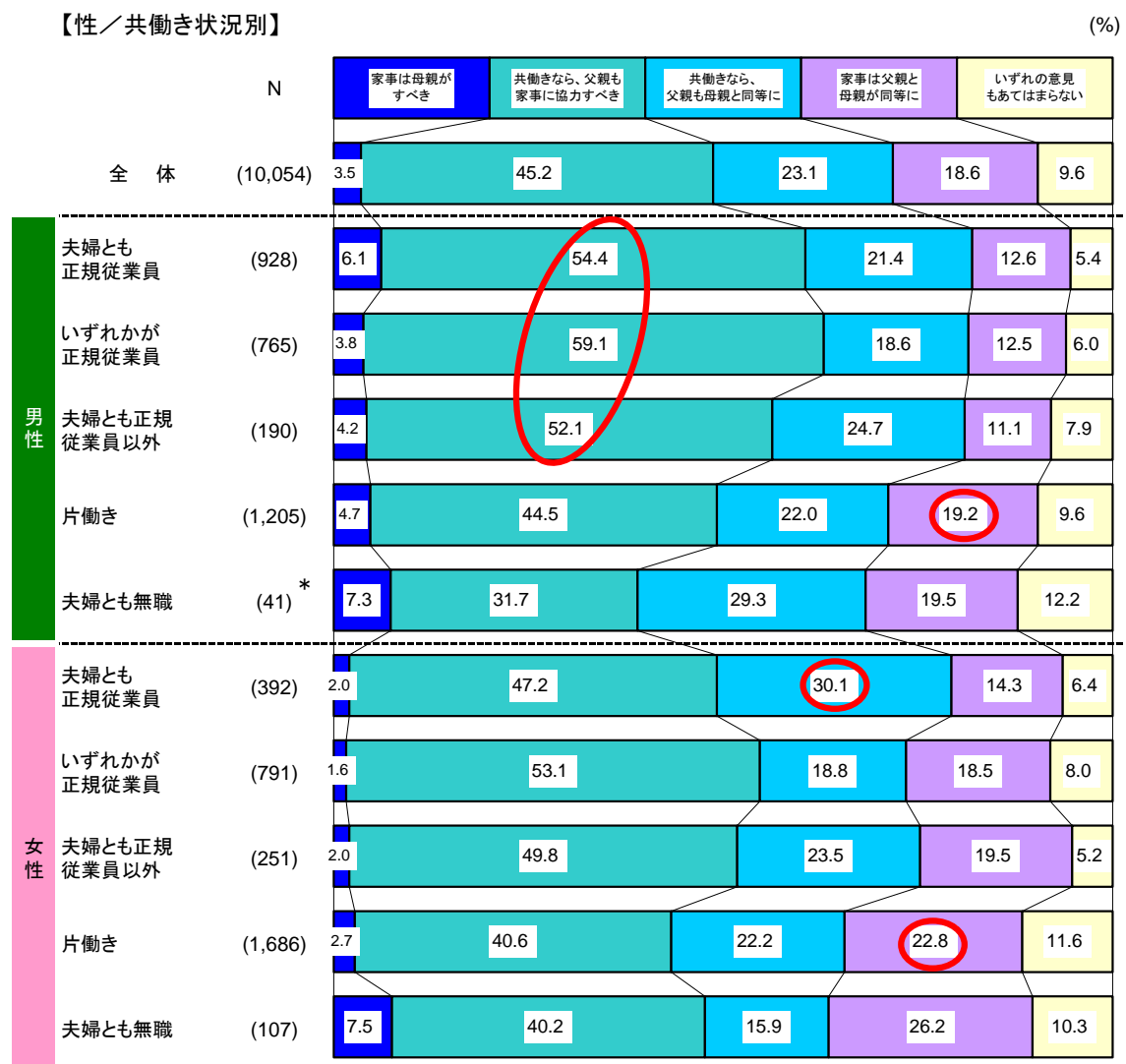


性・共働き状況別にみると、共働きの男性では「共働きであれば、父親は家事・育児に協力すべきである」という回答者が5割を上回り、特に夫婦のいずれかが正規従業員である層（59.1%）ではほぼ6割である（図表4-6-3）。

一方、女性で夫婦とも正規従業員の層は、3割が「共働きであれば、父親も家事・育児を母親と同等にすべきである」（30.1%）と回答している。

これに対して、男女とも夫婦どちらかの片働きの場合、「母親が仕事を持って持たなくても、家事・育児は、父親と母親が同等にすべきである」（男性19.2%、女性22.8%）という回答者が共働き世帯より多くなっている。

図表4-6-3 父親と母親の家事・育児への関わり方（性・共働き状況別）



*サンプル数が少ないため参考値